

専任教員の教育・研究業績

所属 スポーツ科学部	職名 教授	氏名 菅生 貴之	大学院における研究 指導担当資格の有無	有		
I 教育活動						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
II 研究活動						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月	
第30章 「スポーツと内分泌・免疫応答」/生理心理学と精神生理学第II巻応用	菅生貴之/堀忠雄, 尾崎久記 監修 片山順一, 鈴木直人 編集	pp317-328	北大路書房	京都	平成29年9月	
第3章 「メンタルトレーニングの評価」および第5章-5「試合に向けてピークに持っていくための心理的コンディショニング」/スポーツメンタルトレーニング教本 三訂版	菅生貴之 /日本スポーツ心理学会編	pp50-54 pp151-155	大修館書店	東京	平成28年12月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
選択的注意反応課題における大学生アスリートの認知情報処理能力の評価 ―事象関連電位P3と反応時間を指標として―	熊谷史佳 門岡晋 菅生貴之(責任著者)	スポーツ心理学研究	45(1)	1頁~11頁	平成30年3月	
Effects of Scouting Videos on Electroencephalogram during Motor Imagery in Football Players ― Changes in Alpha Power ―	Takahiro Matsutake	Football Science	Vol. 14	34頁~41頁	平成29年	
サッカー選手の判断に伴う中枢情報処理能力の評価 ―反応時間と事象関連電位を指標として―	松竹貴大, 實宝希祥, 門岡晋, 菅生貴之, 浅井 武	スポーツ心理学研究	43(1)	1頁~13頁	平成28年3月	
学生アスリートの試合に対する原因帰属が動機づけに及ぼす影響.	松下周平, 門岡晋, 柄木田 健太, 菅生貴之	大阪体育大学紀要	Feb-00	17頁~28頁	平成27年3月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
実践報告	2011年度大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルーム活動報告	菅生貴之, 高橋幸治, 今堀美紀, 荒屋昌弘, 前林清和, 土屋裕睦	大阪体育大学紀要	44	75頁~92頁	平成25年3月
実践報告	2012年度大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルーム活動報告	菅生貴之, 高橋幸治, 今堀美紀, 荒屋昌弘, 前林清和, 土屋裕睦	大阪体育大学紀要	45	103頁~120頁	平成26年3月
実践報告	2013年度大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルーム活動報告	菅生貴之, 高橋幸治, 今堀美紀, 荒屋昌弘, 前林清和, 土屋裕睦	大阪体育大学紀要	46	111頁~131頁	平成27年3月
実践報告	平成26年度大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルーム活動報告	菅生貴之, 高橋幸治, 今堀美紀, 荒屋昌弘, 前林清和, 土屋裕睦	大阪体育大学紀要	47	173頁~192頁	平成28年3月
実践報告	平成27年度大阪体育大学学生相談室・スポーツカウンセリングルーム活動報告	菅生貴之, 高橋幸治, 今堀美紀, 荒屋昌弘, 前林清和, 土屋裕睦	大阪体育大学紀要	48	143頁~160頁	平成29年3月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内(一般演題)	平成28年8月	日本体育学会	アスリートにおける自律訓練法の継続的練習が慢性的ストレスに及ぼす影響 起床時コルチゾール反応(CAR)を指標として	大阪体育大学	菅生貴之, 門岡晋, 熊谷史佳, 寺澤佑太	

国内(シンポ)	平成28年9月	日本自律訓練学会	スポーツメンタルトレーニングにおける自律訓練法の活用—自律訓練法の効果を精神神経内分泌免疫学的指標で検討する試み	筑波大学	菅生貴之
国際	平成27年7月	14th European Congress of Sport Psychology	Effectiveness of autogenic training, heaviness formula for chronic stress in athletes assessed by salivary cortisol.	The University of Bern, Switzerland	Takayuki Sugo, Fumika Kumagai, Susumu Kadooka
国際	平成25年10月	53rd Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research (SPR)	13. The Association of The Cardiac Autonomic Nervous Functions and Psycho Neuro Endocrinological Activities During Autogenic Training for Athletes.	Firenze Fiera Congress & Exhibition Center Florence, Italy	Takayuki Sugo, Takahiro Matsutake

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
科学研究費	基盤研究C	競技者に対する自律訓練法の継続的介入がストレス反応低減に及ぼす影響に関する研究	代表	平成26年度～平成28年度	
科学研究費	若手研究B	スポーツ選手への自律訓練法継続指導が競技ストレスに及ぼす効果の生理心理学的検討	代表	平成23年度～平成25年度	

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成26年4月～平成29年3月	日本スポーツ心理学会 理事
平成29年4月～平成30年4月現在	日本スポーツ心理学会 監事
平成23年4月～平成30年4月現在	日本体育学会体育心理学専門領域 理事 (平成27年4月1日～平成29年3月31日まで、被選挙権なく在任せず)
社会的活動	
平成25年4月～平成30年4月現在	日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ): ゴルフ競技
平成28年4月～平成30年4月現在	日本オリンピック委員会強化スタッフ(医・科学スタッフ): 体操競技

Ⅳ 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成27年4月～平成29年3月	教務委員会(途中 委員長代理)
平成29年4月～平成30年4月	研究委員会
特別プロジェクト活動	
平成29年4月～平成30年4月現在	ブランディングプロジェクト委員(副部会長)
平成28年4月～平成30年4月現在	大学院研究科長諮問委員会 外部諸機関との連携事業に対するアクションプラン検討委員会(委員長)

Ⅴ クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	バトントワリング 部	2. 役職	部長	3. 部員数	3 人
4. 現場指導の頻度	⑤ ① ほほ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数:	回	延べ日数:	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名	成 績	場 所		

Ⅵ 賞罰(職務に関する賞罰)

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考